

所沢図書館だより
復刊1号(通巻79号)
題字 高橋 玄洋 氏

目次
P.1 「いずみ」
復刊に寄せて
P.2~4 図書館のあゆみ
P.5 図書館活用法
P.6 トベアの分館めぐり
P.7 あなたの街の
図書館から

復刊

いずみ



「いずみ」復刊によせて

高橋玄洋



皆さんはからだ 軀のどこで本を
読んでいますか。もちろん
「眼」でという方が多いでし
よう。しかし、視覚に障害の
ある人は耳や触覚を使って読
んでいます。眼は読書の入口
ではあってもゴールではあり
ません。頭で読んで知識とす
るか、胸で受止めて感情を参
加させるか、はたまた全身で
積極的に取組み勇氣や生命力
に変えている人もいます。す
べては貴方の姿勢にかかわっ
ているのです。

日常にパソコンや携帯など
が取り入れられるようになって、
ボタン一つで言葉が簡単

に現れ読めたり使ったり出来
るようになってきました。そ
の分、言葉の理解が浅くなり
言葉を使う能力が低下したと
も言われています。

読書は畑をくわ 鋤で耕すのに似
ていると思います。浅くも耕
せるし深くも耕せません。深く
耕せばたくさん水や酸素を
取り込み豊かな土に変えてい
けますが、力を惜しんで表面
だけを撫でているとカチカチ
の痩せた土に戻ってしまいま
す。そして深く読むのも浅く
読むのも日頃の習慣が大いに
関係しています。

数学者の岡潔おかきよしという先生
は良寛さんの「天上大風」と
いう書を見て「ドカンと来た」
と言っています。良寛さんが
命懸けで書いた字を自分も命
懸けで見たからだ、というの

です。読書にも同じことがい
えるのではないのでしょうか。
人間ややもすれば楽な道を選
びがちですが、時には目一
杯の努力によって己の限界を
伸ばしていくことも必要でし
よう。それが成長ということ
ではないでしょうか。

慣れば努力も楽しみに代
わり悦よろこびにもなっていきま
す。図書館などを利用するこ
とで読書の習慣を己のもの
とし豊かな人生にしていきたい
ものです。

暫しばらく休んでいた『いずみ』
が復刊されることになりました。
これを機会に図書館をよ
り身近なものとして活用して
戴きたいものです。

高橋 玄洋 氏 プロフィール

昭和4年島根県松江市出身。
昭和34年から所沢市在住。

・主な放送作品
『傷痕』『朱鷺の墓』『繭子ひとり』

・主な文学作品
『花火』『人工樹林』『遙かなる海』
※ 昭和55年に出版された『人工樹林』は
所沢市を舞台に描かれた作品です。西武
ドームのすぐ西側「山口観音」(金乗院)に
は、『人工樹林』をモチーフにした詩「この
椅子」の文学碑が建立されています。

写真提供 梶山 虎雄 氏
(株式会社 ユー企画 代表取締役)

所沢図書館のあゆみ



黎明期く有志による図書館運営く

所沢図書館の歴史は、明治までさかのぼります。

明治四十二年九月、埼玉県は、青年の修養のため、良書の普及を企画して「埼玉県通俗巡回文庫」規程を定めました。これによると、県内を六地区に分け、各地区の小学校に文庫閲覧所を設けて巡回する計画だったようです。

当時、この巡回文庫がどの程度のものであったかは不明ですが、所沢に閲覧所ができた記録はありません。

そのような社会背景の中、明治四十三年七月一日、所沢尋常高等小学校（現・所沢小学校）に文部省視学官が視察講演に訪れます。

小学校に図書室がないのがあたりまえの時代に、同校では学校長の裁量で図書がある程度準備され、条件整備が進行していました。

そのためでしょうか、視察団に、

「本校に是非一之図書館を設けざる可からざる旨」を説諭されました。

これを受けて当時の所沢町学務委員は、七月七日、図書館設置について協議のため、町内世話人の参集を呼びかけました。

そして、七月九日には四三三円の図書館設置のための寄付を集めました。

七月十九日には、図書館用書籍購入のため上京し、約三〇〇円相当、約七〇〇冊の書籍を購入しています。

後に作成した図書館規則に、「本館ハ、道德教育及実業教育ニ関スル図書ヲ蒐集シ、」とあるように、修身の本や、歴史、農工商の本が多く購入されたようです。

所沢町は八月一日に所沢町立図書館設置認可を申請し、八月四日に開館をしました。

場所は、所沢尋常高等小学校

（現・所沢小学校）に仮設し、やがて「相当ノ家屋ヲ建設ス」としていました。それが大正五年の御大典記念館の建設につながります。

<明治43年8月4日集計図書目録>

修身の部	102冊	教育の部	12冊
地理の部	16冊	歴史の部	70冊
言行録の部	48冊	国語漢文の部	87冊
衛生の部	8冊	農工商の部	91冊
小説の部	39冊	文学の部	5冊
理科の部	14冊	法制経済の部	12冊
兵事の部	8冊	家事の部	33冊
雑書の部	16冊	辞典の部	4冊
お伽噺の部	108冊		

（所沢市史下巻より）

当時の図書館規則をみると、館長一名、司書一名、書記一名で運営され、初代の館長は、所沢尋常高等小学校校長が兼任しました。

また、図書館の維持は町予算より支弁するとなっていました。明治四十三年度の経費は、すべて町民の寄付によってまかなわれたようです。

購入品には、麻裏草履二〇足分

もあり、閲覧用スリッパとして用いられ、図書閲覧室は二十名程度の規模であったと考えられています。（斎藤武司家文書参照）

開館前から、学務委員らが帝国図書館や日比谷図書館に視察に行った記録もあり、開館当時、所沢町立図書館は、県内の公立図書館としては、図書数、設備とも相当に充実した図書館であったようです。

（開館当時の図書館規則は、『所沢市史近代資料Ⅱ』一二〇頁参照）
（明治四十五年の所沢町立図書館図書目録は『所沢市史近代資料Ⅱ』二九頁参照）

大正五年一月二十一日、御大典記念館が、現在の所沢小学校内に落成します。瓦葺二階建て七十坪の広さで、二階は御真影奉安所と町立実科高等女学校の教室があり、この建物の一階部分に町立図書館が移転します。

同じ頃、大正四年に発布された訓令により、政府は青年団の結成を推進します。翌年には、埼玉県でも「青年団体準則ニ関スル通牒」

が出され、この結果、大正六年、所沢青年団が設立されます。

この頃から、近隣各地の青年団の活動も活発になり、大正六年に富岡村青年団文庫、大正九年には吾妻村青年団簡易図書館、大正十一年には三ヶ島村簡易図書館、大正十二年には松井村簡易図書館が、各小学校内等に開館します。

(富岡村、吾妻村、松井村は昭和十八年に所沢町に合併、三ヶ島村は昭和三十年に合併しました。)

昭和七年三月には、御大典記念館が現・所沢小学校正門前(寿町)に移築され、実科高等女学校も同じ場所に移ります。

この時の町立図書館の移転場所などを記した資料が見つかりませんでした。しかし、所沢市事務報告書として統計資料は残っていますので、町立図書館は存続していたようです。

昭和十二年発行の所沢町勢要覧によると、昭和十一年度の人口が一一、八〇一人の所沢町で、図書館の蔵書冊数一、四〇二冊、年間開館日数二六三日、年間閲覧人員二、一五二人と記録されています。

	図書数	開館日数	閲覧人員
大正15年	1435	320	660
昭和2年	2470	304	2850
昭和3年	1756	310	1749
昭和5年	1848	310	1893
昭和6年	1873	220	1120
昭和7年	1720	186	1116
昭和8年	1042	248	1240
昭和9年	1321	237	1921
昭和10年	1345	179	1710
昭和11年	1402	263	2152
昭和12年	1474	250	2733
昭和13年	1504	250	1728
昭和14年	2960	280	4210
昭和15年	1660	285	921
昭和16年	1960	285	923

(所沢市事務報告書1所沢町編より)

戦争中は、資料が見当たらず、町立図書館の詳細はわかりません。

戦後になると、青年団の活動も再び、活発になってきます。昭和二十二年の御幸町支部青年団報には、青年団図書室に関するポスターを作成したり、レコードコンサートなどの行事の開催について書かれています。

この頃から、図書館を作ろうと青年団で計画、町内支部毎にリヤカーを引いて戸別訪問し、寄贈図書約五百冊、寄付金三万円弱を集めました。それを基に、旧商業学校(後の埼玉県立所沢高等学校定

時制)講堂二階を借りて図書館を復活させます。(関沢家文書参照)

こうして昭和二十三年、所沢青年団に図書館が引き継がれますが、昭和二十六年三月には青年団が解散、四月以降は市の補助を受けながら、有志によって運営されます。

昭和二十八年、市内の青年数十名が集まり、所沢青年文化懇談会が発足します。当時の青年たちの間に広がる沈滞した空気を払拭し、所沢市の文化活動の発展のために、動こうではないかという趣旨で、図書館の運営にも積極的に関わっていました。

発足に際しての趣意書には、「市に図書館や公民館のできる素地をつくろうではありませんか。」との力強い文言が記載されています。(『所沢市史現代資料』一三四頁参照)

昭和二十九年一月二十一日の「所沢民報」には、「公民館と図書館をつくろう」と、市内の青年たちで運動が進められ、陳情書と二〇一八名分の署名が市役所に提出された記事が掲載されています。

このような市民の声を受けてか、同年七月二〇日号の「所沢市報」(現・広報とことざわ)では、図書館、産業館を兼ねた「所沢会館」

建設構想を、当時の内田市長が市議会で発表しました。この「所沢会館」は、十六年後の昭和四十五年「所沢文化会館」として建設されます。

昭和三十年には蔵書一、七八二冊になり、青年団の頃から続いているLPレコードコンサートや、団体への移動貸出も引き続き行っていました。

昭和三十一年八月一日付で制定された「所沢図書館管理規定」によると、本館運営事務室を市内寿町一二七番地所沢図書館内に置くとあります。この場所は、埼玉県立川越高等学校校定時制所沢分校(昭和四十一年からは、埼玉県立所沢高等学校校定時制)内でした。

昭和二十九年から三十一年頃の「日刊新民報」の記事をみると、定時制高校の古い講堂にある図書館は、運営委員の青年たちの、涙ぐましい努力と、献身的な活動に

よって支えられているという記事が多く見られます。

そんな努力の甲斐があつてか、昭和三十一年四月二日の読売新聞全国版婦人欄には、地方図書館のお手本として紹介されています。（新聞記事は、図書館の読売新聞データベースでご覧になれます。）

また、それまで数万円であつた市からの補助も、昭和三十二年には、図書購入費等十四万円の助成が受けられるようになりました。（昭和三十一年当時の図書館管理規則は、『所沢市史現代資料』一四〇頁参照）

昭和三十二年六月には、図書館と運営委員の青年たちの努力を紹介したテレビ放映もされました。

こうして地元の青年たちに守られてきた図書館も、昭和三十年代終わりにやっと正式な公共施設として設立されます。

昭和三十八年三月、所沢小学校正門前の旧実科高等女学校の一部を使用して、所沢市立所沢図書館創立、昭和三十九年九月十四日、現在の所沢市立所沢図書館が開館しました。

開館当時の職員の記録『二千冊からの図書館』によると、開館前、旧図書館からトラックで運び込まれた蔵書は二千冊余り、青年団の方々と夜遅くまで荷受けしたこと、開館にあたって新刊図書二千冊を購入し、それらの分類・整理に追われたことなどが記されています。

昭和三十九年の閲覧規程には、図書の館外利用について、「年令十二才以上」と記載されています。また、個人の貸出は一人一冊、期間は一週間以内、市内の団体に

は、巡回文庫として一団体三〇冊まで、一ヶ月以内の貸出をしていただくようです。



写真は、当時の所沢市立所沢図書館です。（生涯学習推進センターふるさと研究エリア所蔵）

さあ、新しい図書館の幕開けです。この続きは、次号でご紹介しましょう。

《参考資料》

- 『所沢市史―近代資料Ⅱ』
- 所沢市史編さん委員会編
- 『所沢市史―現代資料』
- 所沢市史編さん委員会編
- 『所沢市史』下巻
- 所沢市史編さん委員会編
- 『所沢市史百年史』
- 所小百年史編集委員会発行
- 『所沢高校百年の歩み』
- 『所沢高校百周年記念誌』
- 埼玉県立所沢高等学校
創立一〇〇周年記念事業
推進委員会発行
- 『所沢市事務報告書1』
- 所沢町編
- 『所沢町郷土史』
- 所沢市史編さん室発行
- 『所澤町勢要覧』
- 所澤町役場発行
- 『所沢市立図書館
関係記事資料』
- 『広報とところざわ
―総集版第1集―』
- 『二千冊からの図書館』
- 増田久三著
- 『所沢図書館の建設』
- 所沢市立所沢図書館
- 『斎藤武司家文書』「関沢家文書」は、生涯学習推進センターふるさと研究エリアでご覧いただけます。

図書館活用法

調べ物をしたいとき、あなたは何を使いますか？

インターネットが普及した昨今、ネットで調べる方も多いと思います。検索キーがヒットすれば欲しい情報がすぐ手に入り、動画や写真も見ることができ便利です。でも、Webサイトでは物足りない、もっと詳しく調べたいというときは、やはり本や新聞縮刷版などの紙ベースの資料がおすすめです。しかし、どの本を調べたらよいか、どうやって調べていったらよいか見当がつかないという方も多いのではないのでしょうか？

こんなとき、特定のテーマに関する代表的な資料や周辺の資料、参考サイトなどの情報収集方法をまとめたものがあれば便利ですね。

このような調べ物のお手伝いをする手引きを「パスファインダー」といいます。Path—小道—をFinder—見つけるもの—という意味で「道しるべ」ともいわれています。

所沢図書館では、本館参考室を

みなさまの調べ物のツールとしてのパスファインダーの作成に取り組んでいきたいと考えています。

本を借りるだけでなく、調べ物の奥義を身につけて図書館の資料を有効活用しませんか？

この紙面をお借りして、地元の名産・狭山茶について調べるための資料をご紹介します。

☆狭山茶について☆



『所沢の狭山茶』

所沢市農政課 平成二十二年 刊

歴史・製造方法・効用と美味し入れ方までわかるパンフレット。

〈K619 卜〉

『狭山茶の歴史と現在』

—アリットフェスタ2009—

特別展パンフレット—

入間市立博物館編集 発行

平成二十一年 刊

入間市立博物館が平成二十一年開催した、特別展の展示解説書。

日本茶や狭山茶の起源と歩み、産地の特徴や製茶の工程、現状などを写真や図録で紹介。

〈K619 ｲ〉

『狭山茶五十年のあゆみ』

太田義十著 狭山茶倶楽部 発行

昭和六〇年 刊

〈K619 ㉸〉

埼玉県茶業研究所や狭山茶農業協同組合の仕事を通じ、茶業農家の育成や品種改良など狭山茶とともに歩んできた先駆者たちの記録。

『所沢の民具2』

—所沢市史調査資料別集17—

所沢市史編纂室編集

平成六年 刊

〈K382 卜2〉

所沢市の茶作りの行程と用具が、写真とともに紹介されている。

『狭山茶の生産用具』報告書』

入間博物館編集 発行

平成二十一年 刊

〈K619 ｲ〉

平成十九年入間市立博物館所蔵の狭山茶の生産用具が有形民俗文化財に登録されたのを記念して作成された冊子。

『狭山茶備忘雑記』

塩原昌昭執筆 武蔵村山郷土の会

平成六年 刊

〈K619 ㉿〉

狭山茶にまつわる石碑を、訓読文とともに収録。入間市宮寺出雲祝神社の碑文に「多摩・入間二郡に跨り」とあるように、瑞穂町、武蔵村山市も茶業は盛んである。

『茶大百科』1・2

農山漁村文化協会 平成二十年発行

歴史から品質、機能性、栽培、製茶まで網羅した茶の総合書。

〈R617.4 ㉿〉

『日本茶めぐり』

辻良平・大西剛著 JTB

平成十四年 刊

種類や入れ方、効能と料理、産地まで、日本茶の基本がわかる本。

〈K619 ㉿〉

『日本茶のすべてがわかる本』

NPO法人日本茶インストラクター協会企画・編集 日本茶検定委員会監修

農文協 平成二十年 刊

〈619.8 ㉿〉

『完全版日本の民謡』第10巻

日本音声保存 平成二十一年 発行

〈B2 ㉿〉

「狭山茶作り唄」が収録されているCD。

お茶に関するホームページ

所沢市茶業協会

<http://tokocha.com>

埼玉県茶業協会

<http://www.cnet-sc.ne.jp/sym-cha>

社団法人日本茶業中央会

<http://www.nihon-cha.or.jp/event.html>

トベアの分館めぐり 第1回 新所沢分館

新所沢分館【基本情報】

〒359-1111 緑町1-8-3
TEL04(2929)1905 FAX04(2929)1906
新所沢駅西口より徒歩8分
新所沢郵便局西側、緑町中央公園北側
開館時間 土・日・祝日 9:30~17:00
火~金 9:30~21:00

ぼくは図書館のマスコットの「トベア」です。
毎回、分館を訪問して楽しいレポートをお届けしま〜す。



トベアくん、
いらっしゃい！
ようこそ新所沢分館へ

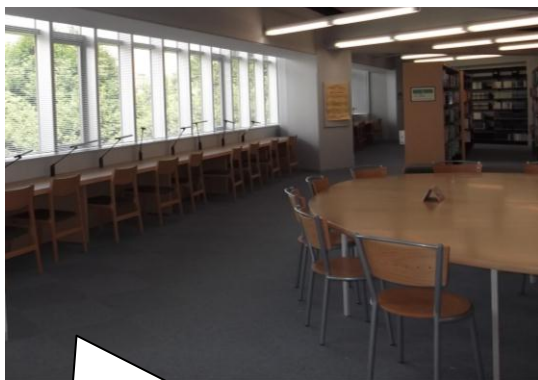


館長さん、
こんにちは！

入り口にやって来ました。
みどり児童館の2階になるんだね。

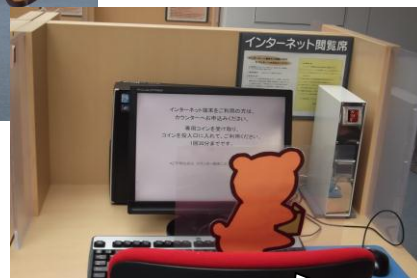


雑誌がいっぱい並んで
いるコーナーです。
向こうの本棚には、
大人の本もあるよ。



西向きに並んだ読書スペース
たくさんの方が利用できます。

こども用の
読書コーナー
にんじん型の
テーブルだよ！



インターネットができる
パソコンが3台あるよ。
満席の時は予約できます。

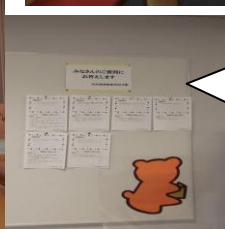
子どもたちを書いてもらった
おすすめ本をリストにして
「トベアぼっくす」に入れて
あるよ。ぜひ見てくださいね。



いつも笑顔の新所沢分館
スタッフです。
よろしくお願いします。



質問コーナー
もあるよ。
みなさんの
質問にお答え
しています。



あなたの街の図書館から、市内7館の分館と1校の小学校図書館からのお知らせ

所沢分館

星空の宅配便く図書館にプラネタリウムがやってくる！

夏休み、所沢分館でドーム型専用プロジェクターで星空を見ませんか？

8月18日(土) 1階多目的会議室
13時・14時・15時の3回公演。

(演目内容は全て同じです。)

定員各回30名8月1日より所沢分館カウンター&電話にて受付開始
ご来館お待ちしております。

椿峰分館

緑に囲まれた椿峰分館。

大きな窓から隣の公園の木々が一面に見え、窓を開けるとカッコウなどの鳥のさえずりが聞こえてきます。そんな椿峰分館のおすすめコーナーは、園芸や植物の本を集めた「緑のコーナー」です。

他にも、椿峰建設の際に発掘された土器の展示も行ってあります。
ぜひ一度、ご来館ください。

狭山ヶ丘分館

季節や話題に先がけた特集や週替わり「今日は何の日」コーナーなどお役立ち情報をご提供いたします。

またお子さま向けイベントも盛りだくさん！ 毎週土曜10時半からおはなし会、毎月第1金曜10時半から親子おはなし会を行っています。特別イベント7月28日(土)は「ぬいぐるみおとまり会」、8月12日(日)は「夏休み工作会」を開催。

富岡分館

富岡分館はオオタカの森や三富地区が近在する自然豊かな場所にあります。併設の公民館駐車場では、ツバメの雛がすくすくと育っています。毎月第1・第3土曜日におはなし会、隔月第2水曜日には、親子おはなし会を行っています。

毎月テーマを変えての本の展示も楽しめます。自然散策の折には、図書館にも、ぜひ、お立ち寄り下さい。

吾妻分館

ズバリ、今年の夏は吾妻で決まりでしょう！

8月の一ヶ月を使って、まちづくりセンターとの共同開催で「納涼映画会」を開催いたします。人気作・名作を中心に上映予定です。

場所は1階ホール、日時は1日(水)、10日(金)、21日(火)、30日(木)の14時から。皆様お誘い合わせの上、是非ご来館ください。

柳瀬分館

緑に囲まれた静かな図書館で幅広い年齢層の方にご利用いただいております。どなたでも気軽にお立ち寄りいただける図書館です。イベントも盛りだくさんで毎週土曜日の恒例おはなし会のほか、7月21日(土)には工作会&おはなし会、8月2日(木)にはリサイクル工作教室があります。明るい笑顔のスタッフが皆様をお待ちしております。

新所沢分館

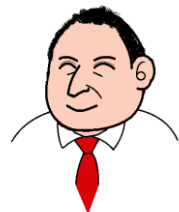
当館は、平成24年4月1日に開館した新しい図書館で、新所沢まちづくりセンターや児童館と併設されています。毎月第2金曜日に親子お話し会、第3土曜日にお話し会を行っています。8月2日(木)と26日(日)には、科学あそび「坂をコロコロ大実験」を行います。また、毎月趣向を凝らした本の展示も行ってまいります。皆様ぜひご来館ください。

松井小学校図書館

夏休み！イベントいっぱい
松井小学校図書館では、夏休みにたのしいイベントを計画しています。
◎夏休み！毎日が工作教室
7月31日〜8月26日
◎こわいおはなし会
◎図書館で調べる自由研究ガイド
◎夏休み館長あれこれクイズ
詳しい内容は、松井小学校図書館にお問い合わせてください。

前館長あいさつ

「時は、それぞれの人によって、それぞれの速さで進む…」
私の在籍した7年は、矢のように過ぎ去りました。皆様のお役に立つ図書館であったことを、願って止みません。これからも、所沢図書館を、よろしく願っています。



前館長
斎藤 雅裕
(現・教育総務部次長)

新館長あいさつ

人生には、やはり思いも寄らぬ事が起こるもので、この四月の人事異動により、高齢者支援課長から、まさかの所沢図書館長に転任いたしました仲です。よろしくお願い致します。私が館長ということで、周囲からも訝しがられました。が、実は子どもの頃から本



新館長
中村 法寛

は大好きでした。まだ小学校低学年の時分、毎週土曜日の放課後になりますと、学校図書館から本を借り、家に帰ってお昼ご飯を食べ、縁側に寝転んで本を読む、その内うつらうつらしてきて…まさに極楽、至福のひと時でした。この拙文をお読みの皆様にも、本にまつわる様々な想い出がおありのことでしょう。折々、本は心の糧にも支えにもなってくれます。どうぞこれからも図書館を多くにご利用ください。

ガイドブックの寄贈のお願い

もうすぐ本格的な夏の到来ですね！夏休みに旅行の計画などを立てている方も多いかと思えます。この時期図書館では、旅行ガイドブックの利用が非常に多くなりまます。新しいものは予約が多数入り、5年以上前の版が利用されることもしばしば。皆様が必要なくなったガイドブックの寄贈を、お願い申し上げます。各館カウンターまでお持ちいただければ幸いです。お待ちしております！

★夜間開館のお知らせ★

太陽が眩しい季節になりました。日差しが和らいだ夕方にお出かけする方も、日中は多忙でなかなか図書館に行く機会のない方も、夜間開館をぜひご利用ください。
本館：火曜日のみ午後7時まで開館（7～9月は午後8時まで・休館日は除く）。
所沢分館：火～金曜日は午後7時まで開館（休館日は除く）。
新所沢分館：火～金曜日は午後9時まで開館（休館日は除く）。
※その他の分館は午後5時までの開館となります。

編集後記

◆金環日食も金星の太陽面通過も見られずに残念。次回まで生きのびるぞ！（A）
◆曾祖父が尽力して作った図書館に不思議な縁を感じます。（K）
◆十数年を経て図書館に異動。その変化にびっくり。でも懐かしいお顔がちらほら。（T）
◆定年を間近に本館に。「いずみ」を復刊でき嬉しい限りです。（M）
◆季節の変わり目。皆様、体調にはお気を付けてください。（Q）

編集発行：所沢市立所沢図書館 〒359-0042 所沢市並木 1-13

ホームページアドレス パソコン <https://lib.city.tokorozawa.saitama.jp>

携帯電話 <https://lib.city.tokorozawa.saitama.jp/k>

電話 / FAX

本館 04-2995-6311 / 04-2992-1421
所沢分館 04-2923-1243 / 04-2928-8195
椿峰分館 04-2924-8041 / 04-2928-8148
狭山ヶ丘分館 04-2949-1193 / 04-2949-8577
松井小学校図書館 04-2992-2796 / 04-2992-2797

富岡分館 04-2943-3636 / 04-2943-6680
吾妻分館 04-2924-0249 / 04-2928-8250
柳瀬分館 04-2944-4023 / 04-2945-7236
新所沢分館 04-2929-1905 / 04-2929-1906

2012年7月15日発行 復刊いずみ1号(通巻79号)